



看護部長便り ~A letter from Ozawatti~



2024年度が始まり、はや3ヶ月が過ぎました。今年度、看護部では体制を大きく変えたことがいくつかあります。**1つ目**は、この新聞を発行している「教育専従」の呼称を「学びサポート室」に変更したこと。昨年、看護協会が公表した「生涯学習ガイドライン」（教育新聞・2023年夏号で紹介）では、『人生100年時代。自らが学習内容を選択し自律的に学ぶ』ことが示されています。「教育」という、えてして受け身・一方通行的な印象ですが、**1人1人の自律的な学び**を支えていくというスタンスで「学びサポート」としました。**2つ目**は、病棟機能別に**チーム**を立てたこと。病床管理、人事、日々のケア等、看護部全体をさらによくしたいという思いです。**3つ目**は、現場ケアの充実のために、看護部会議・委員会の開催頻度・時間を縮小したこと。頻度が少なくなっても、内容が**濃くなる**ことを期待したいです。病院を取り巻く環境は一層厳しくなっています。その中でも、皆さんが生き生きと仕事を続け、よいケアを提供できる環境を整えていきたいと思います。今年度もよろしく願いたします。

看護部長 小澤

人生
100年時代

新人技術合同研修の紹介です！ 6月29日「らくらく介護」

毎年行われている新人技術合同研修は年6回計画しています。今回は、6月29日「らくらく介護」の研修を紹介をします。研修は、患者さんも介助する職員も負担のない自然な動きをテーマに、講義と演習を行います。看護師、介護福祉士、メディカルアシスタント、特定技能実習生のインド人を含めた総勢31人で研修を実施しました。写真は、患者役の職員を膝にのせることで、抱え上げることなく、スライドして車椅子に移乗する介助方法を行っています。改訂された腰痛予防対策指針では、「原則として、人力による人の抱上げは行わないこと」と説明されています。抱え上げる介助を減らしていくこと、福祉用具をさらに活用していくことが求められていますので、「互いに負担なく」をテーマに研修を継続していきたいと思えます。これからも、看護職と介護職合同でいろいろな体験を通し現場に繋がるような研修を企画していきたいと思えます。



看護部学術とセコム合同研究発表会

2024年2月より、看護部だけの学術発表会が始まりました。発表会は、「活動の成果を共有する場」として、フレッシュャー、保有Ⅰ(h)、保有Ⅲ・Ⅳから選ばれた事例と研究発表の場となります。研究発表者の1名は、セコム合同研究発表会にも参加します！今年は、3階西病棟の川口翔也さんが



看護部代表で発表されています。川口さんより一言！「院外での発表で緊張しましたが、より多くの意見をもらえる良い機会となりました。」発表お疲れ様でした！2024年度の看護部学術大会は、

2月27日に開催となります！！

今季で3期目となる、特定技能実習生が入職しています！

今年も、3名が入職し鶴巻温泉病院では8名のインド人が働いています。3人はインド北東部から来ました。地方によって、食事に違いがあるようで、今年の3人に好きな食べ物を聞いてみました！

パニユルさん（左）「牛丼屋に行きたいです！」
 ルアングさん（中央）「ラーメンが好きです！」
 シシャさん（右）「刺身が好きです！」
 職員のみなさま、日本のステキな文化の紹介や、仕事のサポートをよろしく願いたします！



学びサポート隊の活動が始動しました！

今年から、教育委員会の機能を引き継ぎつつ、各病棟の教育担当者としての役割も担っている係長が、学びサポート隊として活動していきます！

1回目は、フィジカルアセスメント力を高めるためには？を皆で考えています。アセスメントの項目では、看護は「呼吸、循環器」介護は「食事」「骨折」などが挙がりました。看護・介護の実践力を向上するための取り組みを継続して行っていきます！



「学びサポート室」名称が変わりました！

看護部長便りでも紹介がありましたが、2024年より、教育専従から名前が変わり、「学びサポート室」となりました。理由は上述の通りです。

主体的な学びは、社会人基礎力の「前に進む力」の一つに位置付けられています。自分の強みや弱みを把握し、困難なことにも自信をもって行動できるよう、自己成長を支援する環境を整えていきたいと思います。今年からは、このメンバーで

皆さまの研修や学びをサポートしていきますので、よろしく願いたします！

